

2026年度 IWIP 国際溶接検査技術者 特認コース募集要項

1. 応募方法（申請に必要な書類の準備/提出）

応募者は以下の＜応募申請書類＞を JWES-HP よりダウンロードして準備し、J-ANB 事務局へ上記期間内に提出してください。なお、応募者が少なく、試験実施が困難な場合は、次来年度以降に延期される可能性があることを、予めご承知おきください。

★受験応募受付期間：2026年4月1日(水)～6月30日(火) 事務局必着

＜事務局＞（一社）日本溶接協会 事業部 J-ANB 事務局(立花) E-mail : tomoyuki_tachibana@jwes.or.jp

TEL : 03-5823-6325 FAX : 03-5823-5211

非破壊検査資格については、JSNDI(日本非破壊検査協会) <https://www.jsndi.jp/qualification/> ^
 ＜応募申請書類＞ 応募者は以下の①,②,③の書類を記入し④の資格の写しと併せ、ご提出下さい。

- ① 「受験申請書」
- ② 表1の学歴を満たす「学歴記入表」「卒業証書（学位記）の写し」又は「卒業証明書」
- ③ 表1の職務経歴を満たす「職務経歴証明書」
- ④ 表1の資格を満たす溶接資格のデ「イ」又は適格性証明書及び非破壊検査資格(JSNDI)の写し

表-1. 資格の種類に対応する受験条件（学歴、職務経歴、必須保有資格）

受験資格バル	受験条件			
	学歴	職務経歴	溶接資格	非破壊検査資格（JSNDI）
IWI-C	工科系大学及び工科系短大（修業2年以上）、又は工業専門学校（修業2年以上）の卒業生。	直近4年間で、IWI-C相当の業務経歴が3年以上あること。	IWT or IWE or WES 特別級	最少(限) バル2 又は バル3 の2 資格保持者(但し1 資格は体積検査、1 資格は表面検査、かついずれか1 資格はバル3 のこと)
IWI-S	工科系高等学校、又は工業系高等学校、又は職業訓練高校、又は溶接工科学校（修業3年以上）の卒業生で、年齢は20歳以上の者、又は上記以外高等学校の卒業生で、年齢は20歳以上、溶接の実務経歴5年以上を有する者。	直近3年間で、IWI-S相当の業務経歴が2年以上あること。	IWS or IWT or IWE or WES1 級以上	最少(限) バル2 の2 資格保持者(但し1 資格は体積検査、1 資格は表面検査)
IWI-B	同上	直近2年間で、IWI-B相当の業務経歴があること。	IWP or IWS or IWT or IWE or WES2 級以上	最少(限) バル1 の2 資格保持者(但し1 資格は体積検査、1 資格は表面検査)

2. 補講講座の受講：7月の週末 2～3日間@場所：日本溶接技術センター(川崎市)

全ての応募者(受験者)は、上記受験条件を満たした後、本特認コースに必要な IIV 履修ポイントを取得する必要があります。このため、以下の補講講座を受講しなければなりません。

- (1) 外観検査(VT)の補講講座(全員必須)
- (2) WPS,WPQR,曲げ試験他への補講講座(全員必須)
- (3) NDI 資格の補講講座：UT 及び PT 資格保有者の場合、RT 及び MT の補講の受講が必須です。

表-2. IIV 履修ポイント取得のための補講講座*（科目,内容,対象者）

実施月日	受講対象者	補講科目	講座の内容
*7/3(金)～4(土)	全員が必須	VT(外観,破面,マクロ検査)	2日間で、実技試験に出る「外観,破面,マクロ試験」の検査実習と、必要な ISO 規格とを学習する。
*7/23(木)～24(金)AM	*RT 資格非保持者は必須、及び、希望者	*RT 理論と実技	1.5日間で、理論/実技試験に出る「RT 検査報告書」、「RT 画像」の判定実務と、必要な ISO 規格とを学習する。
*7/24(金)PM～25(土)	*UT 資格非保持者は必須、及び、希望者	*UT 理論と実技	1.5日間で、理論/実技試験に出る「UT 検査報告書」の判定実務と、必要な ISO 規格とを学習する。
*7/30(木)～31(金)AM	*PT 資格非保持者は必須、及び、希望者	*PT 理論と実技	1.5日間で、理論/実技試験に出る「PT 検査報告書」の判定実務と、必要な ISO 規格とを学習する。
*7/31(金)PM～8/1(土)	*MT 資格非保持者は必須、及び、希望者	*MT 理論と実技	1.5日間で、理論/実技試験に出る「MT 検査報告書」の判定実務と、必要な ISO 規格とを学習する。
9/5(土)	全員が必須	理論/実技試験への対策講座	1日間で、上記科目以外の理論/実技試験への対策講座として ISO 規格や曲げ試験報告書、WPS,WPQR 等を学習する。

*補講科目の順番は、講師のご都合により、入れ替える可能性があります。

3. J-ANB による書類審査とテクニカルインタビュー(TI)

- 1) 受験者から提出された関係書類の妥当性、客観性などについて評価します。
- 2) 応募者数に応じて、テクニカルインタビュー（面接）日時を決め連絡します。：8/20～9/5の間で約1～2時間/1名@場所：日本溶接協会にて。テクニカルインタビューでは、溶接技術/検査技術の知識修得/実務経歴のレベルについての面接審査を行い、次のプロジェクトワークをスキップして良いか否かを判断致します。

4. プロジェクトワーク (Project Work : PW)

TIにおいて、実務経験が不十分と判断された方は、プロジェクトワークに進みます。これは、知識の応用力、問題解決能力を調べるため、指定されたテーマに対して各自が予習し、数名のチーム編成によるケーススタディを行い、予習報告書、最終報告書及び発表内容が審査・評価されるものです。

- ① 予習報告書の作成：予習期間は2026年9月18日～10月16日の約4週間
J-ANBより配布されたプロジェクトワーク案内に基づいて予習を行い、その結果を予習報告書としてケーススタディの前にJ-ANBへ提出します。
- ② ケーススタディ (集合研修形式) 日程：2026/10/22(木)、23(金)、24日(土)の3日間
場所：大阪大学接合科学研究所(茨木市)，3日間で簡単な報告書作成と発表審査とを行います。
- ③ 最終報告書
ケーススタディ終了後、2週間以内に最終報告書をJ-ANB事務局へ提出する必要があります。

5. 最終試験

最終試験は、理論試験と実技試験とを行います。

- ① 理論試験 (溶接技術(WT)モジュール及び溶接検査(WI)モジュールで構成される)
 - ・日程：2026年11月27日(金)PM及び28日(土) ・場所：日本溶接協会(千代田区)
 - ・試験時間：WT/WI-C：2.5時間，WT/WI-S：2.5時間，WT/WI-B：3.5時間，
注)WI-Cの受験者は上記の3試験(WT&WI-C/S/B)を，WI-Sの受験者は上記の2試験(WT&WI-S/B)を，WI-Bの受験者は上記の1試験(WT&WI-B)を受験する。
- ② 実技試験 (パートA、B及びCで構成される)
 - ・日程：2026年12月5日(土) ・場所：日本溶接技術センター(川崎市)
 - ・試験時間：PE-S：4時間，PE-B：2.7時間，
注)WI-C及びWI-Sの受験者は上記の1試験(PE-S)を，WI-Bの受験者は上記の1試験(PE-B)を受験する。

6. 合否通知、登録及び履修証明書(ディプロマ)発行

- ・合否通知：2027年1月初旬 ⇒ ・登録期間：2027年2月初旬迄
- ・履修証明書(ディプロマ)：2027年2月中旬以降発行予定

7. 受験料、登録料及び総額(いずれも消費税10%込み)

- ① 受験料：186,000円/申請時に納入：書類審査/必須の補講講座/ TI /理論試験/実技試験の費用計
- ② 補講講座の追加費用：28,000円/1講座あたり
- ③ プロジェクトワークの追加費用：75,900円
- ④ 登録料：24,640円/合格後に納入：登録及び証明書(ディプロマ)、携帯用の証明書(プラスチックカード)発行料

表3. 総額	補講講座2科目	補講講座1科目	VT他必須講座のみ
プロジェクトワーク受講無し	266,640	238,640	210,640
プロジェクトワーク受講有り	343,540	314,540	286,540

8. 再受験※

※当該年度で特定のモジュール/パートが不合格の場合、IIV-IABの認証規則に従い6年以内の再受験が認められます。J-ANBでは、次年度の試験(当該モジュール/パート)での再受験を推奨しています。詳細は、J-ANB事務局へお問合せ下さい。

9. 提訴※※

※※認証の決定に異議を申し立てる者は、決定通知の日より60日以内に、J-ANB資格認証委員会に書類を付して提訴することが出来ます。詳細は、J-ANB事務局へお問合せ下さい。

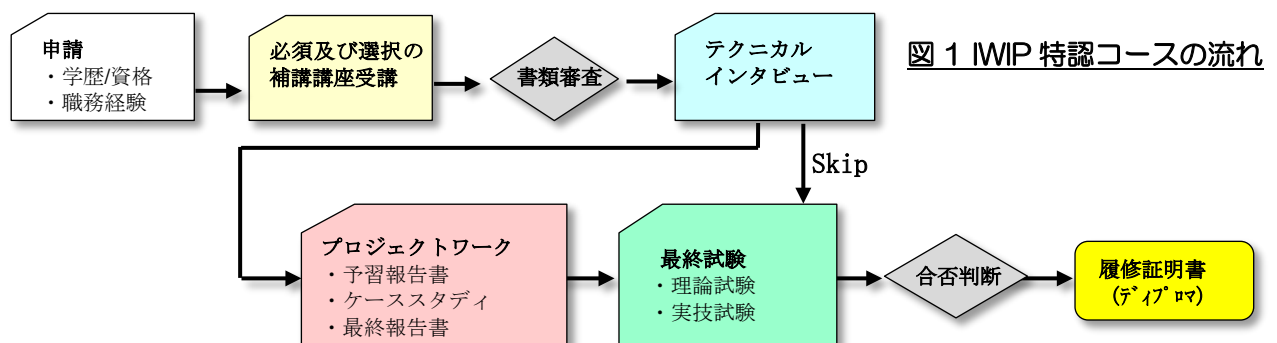


図1 IWIP 特認コースの流れ